

# ステークホルダーからのリクエストとその分類について

2006/10/07 なごや循環型社会・しみん提案会議

## 1. 第1回ステークホルダー会議で出されたリクエスト一覧

下表は、第1回ステークホルダー会議（オリエンテーション）において、ステークホルダーの皆様が出された追加情報に関するリクエストです。

表右端の「A01」といった記号は、質問番号を示します。（ ）書きのものは、同様のリクエストがあることを示しています。

### Aグループ

#### a) 生ごみに関する情報

食品リサイクルの現状として、生ごみ排出量、リサイクル量、何がリサイクルされているか、方法を知りたい	A01
現在の家庭、事業者からの生ごみ量はどれくらい	A02
生ごみが可燃ごみに混入していることのメリット、デメリット	A03

#### b) 焼却に関する情報

焼却炉の情報 建設コスト	A04
現在、焼却処理されているもののリストなど(組成)	A05
焼却に伴うダイオキシン類等の量(農薬等によるものとの比較)	A06
焼却炉を高温度に変えることの費用	A07
もっとハイテクな焼却	

#### c) ごみそのものの情報

名古屋市の廃棄物の種類と構成比のデータ分析が欲しい	A08
処理フロー	A09
分別されたものは現在どのように処理されているか？できればその量も	A10
容器包装の生産費＝消費との価格、エネルギー使用量	A11
リユース容器の現状と普及を妨げる要因について	A12
特定の者に負担がかかるなど分別の現状と課題について教えて欲しい	A13
事業系ごみの現状とその処理方法、量および最終の行き先	A14
資源ごみのもっと細かい内容を知りたい(プラ容器包装では何があるのかわからない)	A15

#### d) コストに関する情報

包装そのものの費用はどのくらいか	A16
民間自主回収リサイクルコスト、市のリサイクルコスト	A17
資源リサイクルコストを。収集費、保管費、処理場への運搬費、処理費のそれぞれのコストを知りたい	A18

### Bグループ

#### a) 焼却

焼却以外の処理技術、それによって環境負荷(CO2 など)が減るのか増えるのか	B01
脱焼却を目指しているあるいは実行している都市(国内外の事例)の情報	B02 (C05)
プラと生ごみの燃料化と再資源化とのコスト比較、負荷比較	(A07)

#### b) 負担

有料化によって廃棄物はどれだけ減少するのか？ 有料化した自治体の状況を資料として	B03
企業：拡大生産者責任(EPR)の徹底(容リ法、家電リサイクル法) 事業者はいくら負担しているのか？(例：容リ法による事業者の負担額) 生活者が使っている製品の消費量(容リ、家電の製品)	B04

c) 生ごみ

事業系生ごみの実態がわかるもの、スーパーやコンビニでの発生量とリサイクル量、リサイクル方法など	B05
スーパーでの利用状況(生ごみ堆肥が産物として戻ってきているかなど)	B06

d) 市民意識

ゴミ袋の利用状況(ゴミ袋の過剰包装はどのくらい?)	B07
---------------------------	-----

e) 基本的な情報としてのその他

生活者の不法投棄(不適切な排出)	B08
粗大ごみについて(量が減ったのはなぜ?)	B09
ごみに関する名古屋市民へのアンケートの集計を属性別に提供してほしい(性別、年代など)	B10
中央と地方の違いの実態、地方自治体毎のごみ処理費用の実態(どうして費用格差が発生するのか)	B11

C グループ

a) 将来予測

15~20年後の循環型社会をイメージしたいので、子供などの絵や作文、その他	C01
バックカスティングを実施するため、現行の名古屋市の将来像。	C02
例えば、人口減とごみ排出量の相関、世帯数と世帯人員数の予測、世帯人数とごみ排出量の予測	C02
国民生活モニター、当市アンケート等で結果として表れている循環型社会形成推進にマイナスとなっている点に係る打開策と将来的な姿(社会経済システムとの関連)	C03

b) 意識

ごみ減量達成の市民の誇り、名古屋の評価	C04
ゼロウェイストの考え方、実践例、成功例	C05
現状の対応策と将来の施策に関し、市民意識の更なる高揚策 (現状の意識が高水準にあるとするならばモチベーションの維持策)	C06

c) 現状理解のためのしくみ等

マンション、共同住宅の指導方法(建物が立ち上げる前にオーナーに行政から指導してもらっているが)	C07
レジ袋の有料になっても、持ち歩くのに(バックに入りやすい)何度も使えばよいという人もいる	C08
ごみ減のプラス効果	C09
ごみ処理の内容を理解するために処理方法の仕組み、不燃の処理、可燃の処理、名古屋市方式	C10
イメージを描くためにスローフード、スローライフなどの社会意識の変化を示す活動や考え方	C11
地域や団体での具体的なユニークな楽しい夢のある活動事例	C12
ごみ有料化の実態について、他の自治体の状況を知りたい	(B03)
容り法の見直しがどうなったのか? 包装コスト 価格付加(転嫁)がどうなったのか? 生産者意識の考え方	C13
市の処分場の残余容量	C14
他地区行政の取り組みや効果的成果の情報	C15
グリーン購入を増やしたい 環境影響として評価の高いもの低いものの情報が欲しい	C16
販売店による包装紙削減の取り組み	C17
エコカービョンの実績	C18

d) 現況評価データ

焼却による環境影響のデータ	(B01)
回収後のリサイクル方法を理解するため、古紙、プラ、生ごみの具体的な資源化方法の提供	(A09)
生ごみ分別の実績結果評価と(やったひとの評価)あれば問題点	C19
情報がどこまで行き届いているか知るために、市民のごみに関する情報の入手方法	C20
二酸化炭素削減データ(名古屋市取り組みの結果)	C21
大量生産・大量消費・大量リサイクル ペットボトルの生産量の推移(名古屋市)	C22
プラごみ急増(自分の感じ)の理由 種別の生産量・消費量	C23
事業系生ごみの資源化の実態例	(B05)
現在、ごみになっている紙の内訳(資源にならないわけ)	C24

生ごみ資源化したものの行き先(現状)	C25
--------------------	-----

その他 …… 辻氏の意見

リサイクルによる CO2 削減効果	(B01)
藤前干潟の自然環境価値	(C09)
藤前干潟の漁業資源としての価値	(C09)
名古屋市民の満足度	(C04)
埋め立て地の長寿命化の価値	(C09)

## 2. リクエストの分類

ステークホルダーの皆様が出された様々なリクエストを（機械的に）集約すると、下表のように分類されます。（表中の数字はリクエスト数を示します。）

	量・質など	コスト 環境負荷	手法・事例	その他	計
ごみ全般について	9	1	3	11	24
焼却について	1	6	1	0	8
リサイクル全般について	1	3	1	0	5
生ごみについて	2	0	4	2	8
容器包装について	2	2	1	2	7
ごみ有料化について	0	0	2	0	2
循環型社会について	0	1	2	2	5
計	15	13	14	17	59

テーマとしては、ごみやリサイクルの全体に係わるもの、生ごみや容器包装、ごみ有料化といった個別課題のもの、さらには循環型社会についてといった概念的なものに整理されます。（上記表の縦軸）

また、リクエストの内容を分類すると、量や質、コスト・環境負荷といった数量的なもの、手法や事例に関するもの、その他に整理されます。

参考までに、上記の分類表にそれぞれのリクエストを落とし込んだものを次頁に示します。

	量・質など	コスト・環境負荷	手法・事例	その他				
ごみ全般について	名古屋市の廃棄物の種類と構成比のデータ分析が欲しい	A08	二酸化炭素削減データ(名古屋市内)の組み合わせの結果	C21	中央と地方の違いの実態、地方自治体毎のごみ処理費用の実態(どうして費用格差が発生するのか)	B11	特定の者に負担がかかるなど分別の現状と課題について教えて欲しい	A13
	処理フロー	A09			地域や団体での具体的なユニークな楽しい夢のある活動事例	C12	生活者の不法投棄(不適切な排出)	B08
	分別されたものは現在どのように処理されているか? その量も	A10			他地区行政の取り組みや効果的成果の情報	C15	ごみに関する名古屋市民へのアンケートの属性別集計(性別、年代)	B10
	ごみ処理の内容を理解するために処理方法の仕組み、不燃・可燃の処理、名古屋方式	C10 (A09)					バックキャストを実施するため、現行の名古屋市の将来像(人口減とごみ量の相関、世帯数と世帯人員数の予測、世帯人数とごみ量の予測)	C02
	回収後のリサイクル方法を理解するため、古紙、プラ、生ごみの具体的な資源化方法の提供	(A09)					ごみ減量達成の市民の誇り、名古屋の評価	C04
	事業系ごみの現状とその処理方法、量および最終の行き先	A14					現状の対応策と将来の施策に関し、市民意識の更なる高揚策(現状の意識が高水準にあるとするならばモチベーションの維持策)	C06
	ゴミ袋の利用状況(ごみ袋の過剰包装はどのくらい?)	B07					マンション、共同住宅の指導方法(建物が立ち上げる前にオーナーに行政から指導してもらっているが)	C07
	粗大ごみについて(量が減ったのはなぜ?)	B09					レジ袋が有料になっても、持ち歩くのに(バックに入り易い)何度も使えばよいという人もいる	C08
	市の処分場の残余容量	C14					ごみ減のプラス効果	C09
						エコカーブンの実績	C18	
						情報がどこまで行き届いているか知るために、市民のごみに関する情報の入手方法	C20	
焼却について	焼却処理されているもののリスト(組成)	A05	焼却炉を高温度に変えることの費用ももっとハイテクな焼却	A07	脱焼却を目指している又は実行している都市(国内外)の情報	B02 (C05)		
			焼却炉の情報 建設コスト	A04				
			プラと生ごみの燃料化と再資源化とのコスト比較、負荷比較	(A07)				

	量・質など	コスト・環境負荷	手法・事例	その他
		焼却に伴うダイオキシン類等の量(農薬等との比較) A06		
		焼却以外の技術で環境負荷(CO2など)が減るか増えるか B01		
		焼却による環境影響のデータ (B01)		
リサイクル全般について	資源ごみのもっと細かい内容を知りたい(プラ容器包装では何があるのかわからない) A15	企業: 拡大生産者責任(EPR)の徹底(容り法、家電リサイクル法) →事業者はいくら負担しているか? (例: 容り法の事業者負担額) →生活者の消費量(容り、家電の製品) B04	現在、ごみになっている紙の内訳(資源にならないわけ) C24	
		民間自主回収リサイクルコスト。市のリサイクルコスト。 A17		
		資源リサイクルコストを。収集費、保管費、処理場への運搬費、処理費のそれぞれのコストを知りたい A18		
生ごみについて	現在の家庭、事業者からの生ごみ量はどれくらい A02		食品リサイクルの現状として、生ごみ排出量、リサイクル量、何がリサイクルされているか、方法を知りたい A01	生ごみ分別の実績結果評価と(やったひとの評価)あれば問題点 C19
	生ごみ資源化したものの行き先(現状) C25		事業系生ごみの処理実態のわかるもの、スーパーやコンビニでの発生量とリサイクル量、リサイクル方法など B05	生ごみが可燃ごみに混入していることのメリット、デメリット A03
			スーパーでの利用状況(生ごみ堆肥が産物として戻ってきているか等) B06	
			事業系生ごみの資源化の実態、例 (B05)	
容器包装について	大量生産・大量消費・大量リサイクル ペットボトルの生産量の推移(名古屋市) C22	容器包装の生産費 = 消費との価格、エネルギー使用量。 A11	販売店による包装紙削減の取り組み C17	リユース容器の現状と普及を妨げる要因について A12
	プラごみ急増(自分の感じ)の理由、種別の生産量・消費量 C23	包装そのものの費用はどのくらいか A16		容り法の見直しについて(包装コスト 価格転嫁がどうなったのか? 生産者意識の考え方) C13
ごみ有料化について			有料化によって廃棄物はどれだけ減少するのか? 有料化した自治体の状況を資料として B03	

	量・質など	コスト・環境負荷	手法・事例	その他
			ごみ有料化の実態について、他の自治体の状況を知りたい (B03)	
循環型社会について		グリーン購入を増やしたい→環境影響として評価の高いもの低いものの情報 C16	ゼロウェイストの考え方、実践例、成功例 C05	15～20年後の循環型社会をイメージしたいので、子供などの絵や作文、その他 C01
			イメージを描くためにスローフード、スローライフなどの社会意識の変化を示す活動や考え方 C11	国民生活モニター、当市アンケート等で結果として表れている循環型社会形成推進にマイナスとなっている点に係る打開策と将来的な姿(社会経済システムとの関連) C03